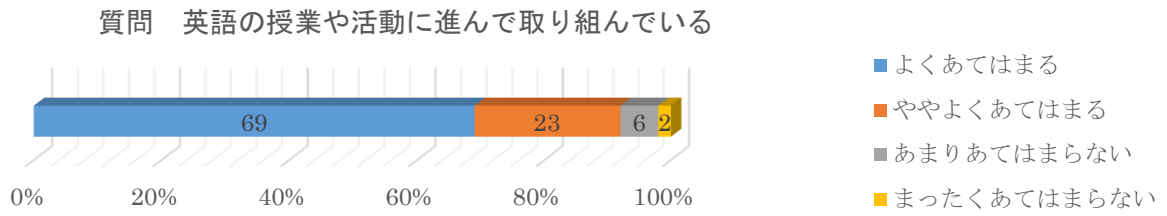
令和４年度特別の教育課程の実施状況等について

１　自己評価結果

児童向けのアンケートを行ったところ、「英語活動で、できたりわかったりすることが楽しい」という質問で「よくあてはまる」「ややよくあてはまる」との回答が９２％を占めた。

このことから、児童は「英語活動」を楽しんでいることが伺える。英語の意味や内容がはっきりわからない場面があっても、映像などからその意味を汲み取りながら楽しく活動しているのではないかと推測できる。

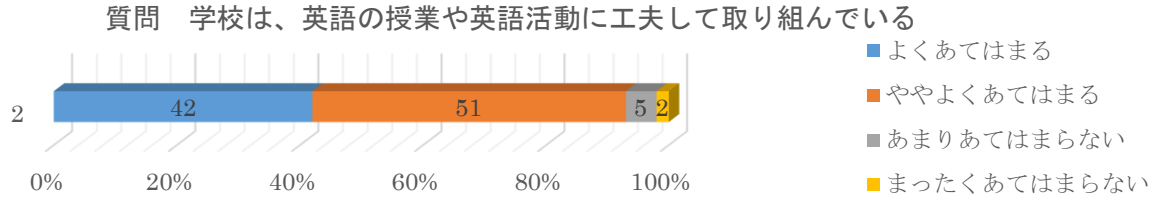
【資料１】学校教育診断（児童）の結果



２　学校関係者評価結果

保護者向けのアンケートを行ったところ、「学校は、分かる楽しい授業を目指し、英語の授業や英語活動に工夫して取り組んでいる」という質問に対し、９３％の保護者から「よくあてはまる」「ややよくあてはまる」と回答があった。また、「子供は授業が分かりやすいと言っている」という質問では「よくあてはまる」「ややよくあてはまる」の回答が８４％だった。このことから、保護者も、児童が英語によく親しんでいるととらえていることが分かった。

【資料２】学校教育診断（保護者）の結果



学校評議員には、楽しそうに英語を発音したりジェスチャーしたりして、英語に触れている児童の様子を伝えることができた。授業参観などを通して、楽しそうに英語に触れている児童の姿を、喜んでいただけているのではないかと感じることができた。

３　まとめ

資料１から、児童は日々のＤＶＤ視聴を楽しんでいることが伺える。また、英語活動を通じて英語で話されている内容を概ね理解できていることが分かった。

今後は、英語に親しむ気持ちをもちながら、高学年の外国語科の学習につなげられるように、英語活動を楽しませながら、内容の理解も深めていくことが課題である。